

◆◆◆ 平成26年第1回臨時会・定例会賛否一覧 ◆◆◆

※これ以外の議案等は全員一致です。

議案等の内容		議員名											結果		
		松下哲也	長尾式宮	菊地誠道	本多耕平	林博	黒沼俊幸	後藤勲	舘田賢治	鈴木裕美	田中敏文	熊谷善行		深見迪	川村多美男
臨時会	消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	原案可決
定例会	消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書	○	○	欠	○	○	○	○	欠	×	○	○	×	○	原案可決
	沖縄県普天間飛行場の辺野古への移設計画の撤回を求める意見書	○	×	欠	×	×	×	×	欠	○	×	×	○	×	原案否決
	特定秘密保護法の廃止を求める意見書	○	×	欠	×	○	×	×	欠	○	×	○	○	×	原案否決
	平成26年度標茶町一般会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	原案可決
	平成26年度標茶町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	原案可決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、採決に加わりません)

消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

反対討論 深見 迪議員

私は、今回提案された消費税増税分を町の各種使用料等に転嫁する条例の一部「改正」案に対し、反対の立場から討論します。

反対の理由は、住民の暮らし・福祉を守るべき標茶町が、消費税の機械的な使用料等への転嫁で、町民負担を増やすからであります。

今、町民の暮らしは本当に厳しくなっています。年金の引き下げや生活保護費の削減、介護保険料の相次ぐ値上げ、そして、4月からの多くの物価の値上げ、その上の消費税増税です。また、今回の消費税増税に対し、どう生業を続けて行つたらよいか悩んでいる商店や事業者の方が多くいます。だからこそ、消費税増税をストレートに転嫁するのではなく、負担増を極力抑えるべきです。国の悪政から町民、町内中小・零細事業者の生活と営業を守る役割が自治体にはあります。消費税増税分を利用者に転嫁するかどうかは、町が判断できるものです。このような時だからこそ、消費税増税分の転嫁には慎重でなければなりません。

以上の観点から、今回提案された増税分を町民生活に転嫁する議案に反対するものであります。

平成二十六年年度標茶町一般会計予算について

反対討論 深見 迪議員

私は、今回提案された議案第十八号平成二十六年年度「標茶町一般会計予算」案に対し、反対の立場から討論します。

町長は、町政執行方針で「本町のよつな地方においては、円安による物価上昇の暮らしへの圧迫感が先行し、未だに景気回復の兆しすら実感できないのが現状である」と現状を分析し、町民へのくらしに思いをはせています。私も同じ現状認識であります。

今年1月に開催された第1回臨時会で、消費税値上げに伴う町の利用料、使用料等への転嫁が提案され、私は反対を表明いたしました。この消費税増税の影響は、子どもたちが毎日食べる給食費の値上げにも及ぶことが教育長の報告でも明らかになりました。

国民の所得が大きく減少したもとの大増税は、暮らしと景気をこわし、その結果、他の税収を減らし、日本経済と財政に深刻な事態を引き起こすことは明らかであります。

以上の観点から、今回提案された増税分を町民生活に転嫁する議案に反対するものであります。

第一回定例会 議会日誌から

- 十二月十一日 広報調査特別委員会
- 一月六日 広報調査特別委員会
- 一月七日 広報調査特別委員会
- 一月十四日 総務経済委員会
- 一月十五日 広報調査特別委員会
- 一月二十日 広報調査特別委員会
- 一月二十九日 議会運営委員会
- 一月三十日 第一回臨時議会
- 一月三十日 全員協議会
- 二月二十四日 釧路北部消防事務組合議会
- 二月二十四日 川上郡衛生処理組合議会
- 二月二十六日 厚生文教委員会
- 三月四日 議会運営委員会
- 三月七日 第一回定例会
- 三月十二日



3年目を迎えた3.11東日本大震災
犠牲者に対して黙とう



43年の歴史を終えた上御卒別小学校

編集後記

雪解けが進み春の足音が大きく聞こえる季節となりました。三月の第一回定例会は二十五年次補正予算として二十六年次予算を決定する重要な議会です。主な事業内容は町広報に記載されておりませんが、懸案事業も着工予定で二十六年次予算は昨年度対比で七億一千万円増の大型予算が提案されました。一般質問者七名、総括質問者七名が町理事者と白熱した議論を展開し、二十五年次補正予算、二十六年次予算が全件可決されました。私達議員の任期も一年となりましたが、議員として議会の果す、果たした役割を今後ともしっかりと議会、だよりで皆様に報告をしてまいります。
(文責 本多耕平)